

会報

あんぜん

発行者
気仙地区危険物安全協会
大船渡地区消防組合
消防本部内
TEL 27-3555

平成27年度危険物安全週間推進標語

無事故へと
気持ち集中
はっけよい

『年頭のご挨拶』

会長 横澤吉夫



謹んで
新年の
お祝詞を
申し上げます

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には新しい年を健やかに迎えの事と心よりお慶び申し上げます。

日頃は、当協会の業務及び事業推進につきまして、格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

また、昨年9月30日に消防庁消防研究センターの畑山健先生をお招きしての防災講演会には多数の会員の皆様方のご出席を頂き誠にありがとうございました。防災講演会では「東日本大震災における屋外タンク貯蔵所の津波被害」というタイトルで青森から福島まで畑山先生が調査を行った被害タンクの状況、被害の予防軽減対策などについて講演を頂きました。

消防庁より全国の危険物施設における事故発生状況が発表になり、平成26年の事故件数は599件であり、前年に比べ35件の増加となりました。

近年の事故件数は、平成19年の603件をピークとして依然として高い水準で推移しています。平成元年以降、事故の最も少ない平成6年に比べると、危険物施設が減少しているにもかかわらず、事故発生件数は約2倍に増加しております。ひとたび危険物に係る事故や災害が発生しますと地域社会に大きな影響を与えます。

会員の皆様には災害や事故のない安全安心な地域づくりのため、今後とも危険物施設の適正な維持管理と自主保安体制の確立に一層のご尽力をお願い申し上げます。

結びに本年も消防当局の一層のご指導、ご協力をお願い申し上げますと共に会員の皆様方の益々のご繁栄、ご健勝をご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

平成27年度防災研修会開催

平成27年9月30日(水)シーパル大船渡において、岩手県危険物安全協会連合会との共催による『平成27年度防災研修会』が行われました。

この研修会は、危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を推進することを目的として開催されたものです。

参加者は、会員事業所及び消防職員合わせて61名の参加となり、始めに会長の横澤吉夫氏より挨拶をいただき、その後『東日本大震災における屋外タンク貯蔵所の津波被害』と題して消防研究センター主幹研究官 畑山健博士の講話に入りました。プロジェクターを使い消防研究センターの概要や研究計画などの説明から始まり、津波被害の現地調査、アンケート調査状況などを写真や動画、グラフを交えながら解説されました。



また、「滑動」「浮き上がり」の予測式などを示し、的中率は約76%でタンクの津波移動被害の予測に使えると述べ、まとめに被害を最小限に抑えるための対策を提案し、今後の課題などについて話し合いました。



平成27年度第4回危険物取扱者試験日程

- 危険物取扱者試験日 平成28年3月19日(土)
- 願書の受付期間(書面申請) 平成28年2月8日(月)～2月16日(火)まで
- 電子申請の受付期間 平成28年2月5日(金)～2月13日(土)まで

受験願書の取りまとめについて
2月15日(月)までに持参した分については、一括送付します。(気仙地区危険物安全協会会員に限り)

第4回危険物取扱者試験準備講習会

『準備講習会』(県協会主催)

- 1 開催日及び会場
平成28年2月23日(火)、24日(水) (公財)岩手県高校教育会館 2階小・中会議室
(盛岡市志家町11-13)
- 2 時間 9時～12時、13時～16時
- 3 受講料 (テキスト含む)

会員事業所・学生	8,500円
非会員事業所	13,500円



※準備講習会の申込用紙は、気仙地区危険物安全協会にあります。

※テキストをご希望の方は、気仙地区危険物安全協会にて販売いたします。 乙種第4類 1,500円

移動タンク貯蔵所の定期点検マニュアル

(一財)全国危険物安全協会では、危険物取扱者の的確な定期点検のツールとして定期点検マニュアルを発刊いたしました。総務省消防庁で示された定期点検の点検表等に沿って、各点検項目に定められた「点検内容」、「点検方法」等を詳細に解説しています。

また、移動タンク貯蔵所の事故事例を多く掲載しており、類似の事故防止に活用できます。詳細については、(一財)全国危険物安全協会ホームページをご参照ください。

<http://www.zenkikyo.or.jp/text/manual.html>

◇本書の構成◇

- 第1章 定期点検に係る法令改正《危険物施設の事故概要、法令解説、定期点検記録表及び点検表等》
- 第2章 移動タンク貯蔵所の定期点検実施要領《移動タンク貯蔵所の点検項目の解説》
- 第3章 移動タンク貯蔵所に係る事故事例《移動タンク貯蔵所の事故、移動タンク貯蔵所に係る事故事例》
- 第4章 参考資料

発行：一般社団法人全国危険物安全協会 B5版オールカラー 定価2,500円(税込み)

ガソリン携行缶注意表示シールについて

現在、販売・流通されているガソリン携行缶には注意表示シールが貼り付けされておりますが、平成25年12月以前から使用されている、個人が所有するガソリン携行缶については、消防庁の要請を受け(一財)全国危険物安全協会が注意表示シールの貼付を推進しております。

また、消防庁のホームページにおいて、ガソリン携行缶の取扱いに関する注意表示シールの作成方法が掲載してありますのでご参照ください。

！噴出注意！

★周囲の安全を確認
★フタを開ける前に
①エンジン停止
②エア抜きをする
★高温の場所禁止



ラベルのついた確かな製品を選びましょう
これが安心の印です。
「試験確認済証」

危険物保安技術協会 <http://www.khba-soubun.or.jp/>

ガソリン携行缶の取扱いに関する注意表示シールの作成方法 (消防庁HP)

<http://www.fdma.go.jp/html/life/pdf/kiikenbutsu.pdf>